



2018年11月2日

各 位

会社名 協栄産業株式会社
 代表者名 取締役社長 水谷 廣司
 (コード番号 6973 東証第一部)
 問合せ先 取締役 村本 篤
 常務執行役員
 (TEL 03-3481-2111)

2019年3月期 第2四半期累計期間業績予想
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2018年5月11日に公表した2019年3月期第2四半期累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)の業績予想及び2019年3月期通期(2018年4月1日～2019年3月31日)の業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第2四半期(累計)業績予想数値の修正(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1)連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,000	50	30	20	6.56
今回修正予想(B)	28,865	133	139	△142	△46.86
増減額(B-A)	△1,134	83	109	△162	-
増減率(%)	△3.8	167.2	363.6	-	-
(ご参考)前期実績 (2018年3月期第2四半期)	26,822	85	98	75	24.61
(ご参考)前第2四半期実績比(%)	107.6	155.9	141.2	-	-

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。「1株当たり四半期純利益」につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

2. 2019年3月期通期業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1)連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	60,000	250	200	160	52.49
今回修正予想(B)	60,000	170	120	△150	△49.21
増減額(B-A)	0	△80	△80	△310	-
増減率(%)	0.0	△32.0	△40.0	-	-
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	54,834	182	190	152	50.17
(ご参考)前期実績比(%)	109.4	93.1	63.1	-	-

2. 理由

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、ICT部門での電力関連向けの受託ソフト開発およびFACE (FAX 送受信の代行サービス) の受注が好調であったことならびにグループ全体における販管費の削減効果もあり、営業利益、経常利益は、2018年5月11日公表の数値を上回る見込みとなりました。

しかしながら、本日公表いたしましたとおり、当社連結子会社の協栄マリンテクノロジー株式会社福山営業所の法定船用品（救命設備）整備事業において、膨脹式救命いかだおよび降下式乗込装置の整備に際し、救命設備メーカー様の整備規程または整備要領書が定める必要な整備項目の一部省略が行われ、当該項目の整備記録の改ざんが行われていたことが判明し、11月1日に国土交通省様に対してご報告いたしました。

そのため、この対応を行う再整備費用として、現時点における一定の想定のもと再整備費用引当金2億3千万円を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億4千2百万円となり、2018年5月11日公表の数値を下回る見込みとなりました。

通期の連結業績予想につきましては、協栄マリンテクノロジー株式会社福山営業所では、上記事案を受けて整備業務を行っていないこと等もあり、営業利益、経常利益で減益が見込まれます。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、当第2四半期累計期間に再整備費用引当金を計上したことと上記減益が見込まれることにより親会社株主に帰属する当期純損失1億5千万円となる見込みです。

なお、配当予想につきましては、前回発表の1株につき中間配当20円、期末配当20円の予想に変更はございません。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上